

「共助」の絆をより確かなものにするために

避難所運営と人権

みやま市では、「防災に強い組織・ひとづくり」「災害に強いまちづくり」「災害に備えた防災体制づくり」といった基本指針を掲げ、「安全で安心して暮らせるまちづくり」に向けた防災の取り組みをすすめています。そのために、日頃から市民・行政・関係機関などの連携のもと、自助・公助とともに、地域社会で互いに助け合う「共助」の絆を、より確かなものにしていかなければなりません。

だれもが安全で安心して過ごせる避難所運営



熊本地震における避難運営 4つのポイント

- ① 地域の人たちをまるごと受け入れる
 - 誰でもどうぞの原則をもつ
 - 名簿は作成しない
- ② 「管理はしない、配慮する」の方針
 - 規制はしない、問題は対話で解決する
 - 運営者が状況に応じて、柔軟に対応した配慮をする
- ③ 避難所の収束のあり方
 - 避難所を必要な人がいる限り閉じない
 - 避難者の次のステップに備えた場所にする
- ④ 災害発生以前の備え
 - 建物のバリアフリー化を推進する
 - 判断力・行動力をもった人を育成する



熊本学園大学
社会福祉学部
花田 昌宣 教授



熊本学園大学
水俣学研究センター
井上 ゆかり 研究員



熊本地震後の熊本学園大学で開設・運営された避難所は、その運営の在り方が高い評価を受け、「熊本学園モデル」として評されています。熊本学園モデルを運営された、熊本学園大学の花田さん、井上さんに、その取り組みを教えてくださいました。



▲相談体制の充実

～みやま市に貢献し、みやま市を盛り上げる山門高校～

やま盛

地域に頼りにされる高校に!!

みやま高校生
お弁当プロジェクト

令和4年度は、「未来を切り拓く人材育成事業」の一環として、地域の特産品を生かしたお弁当作りを実践しました。生徒たちはこれまでに、特産品を使った調理のアレンジ方法や彩りと「美味しさ」の関係性などを学んできました。

9月20日(火)、みやまスマートエネルギー株式会社より野田さん(さくらテラス調理師)を招いて、調理上の安全な食品の取り扱いや、調理技術を学びました。専門的なアドバイスを受けながら、高菜やみかんなどの特産品を使ってオリジナルのお弁当を完成させました。



▲調理方法を学ぶ



▲彩りと「美味しさ」の関係を学ぶ

生徒の感想
みんなで協力して調理することができました。彩りも考慮しながらの調理は難しかったけど、材料選びや配置を考えたりして面白かったです。



山門高校
ホームページ



みやまに生きる人

ひと
vol.140

「喜よし食堂」

島田 千穂さん

瀬高地区に店を構える「喜よし食堂」。島田さんは、ちゃんぽんが人気のこのお店で調理から接客までをひとりでこなす。父の夢を背負って喜よし食堂は、柳川で創業70年を誇る老舗。島田さんは、7年前に父の後押しを受け、のれん分けで独立した。「母の病気をきっかけに実家の店を手伝うようになって13年が経ち、独立しました。もともと父に『よその町で挑戦したい』という思いがあったみたい。父から『3年経ってダメだったら戻ってくればよか』と後押しされて独立したけど、その3年間で出会ったお客さんとの繋がりを大事にしているうちに7年が経っていました」

父の夢を背負って

喜よし食堂は、柳川で創業70年を誇る老舗。島田さんは、7年前に父の後押しを受け、のれん分けで独立した。

「母の病気をきっかけに実家の店を手伝うようになって13年が経ち、独立しました。もともと父に『よその町で挑戦したい』という思いがあったみたい。父から『3年経ってダメだったら戻ってくればよか』と後押しされて独立したけど、その3年間で出会ったお客さんとの繋がりを大事にしているうちに7年が経っていました」

胸いっぱい、お腹いっぱい

「スープを作るときは、特に気持ちを込めています。70年間親しまれてきた自信の味を提供するために、『息を止める』ぐらいの気持ちで作る。だから、お客さんから『昔ながらの味が懐かしいね』って言ってもらえると、ぎゃん嬉しいんです。何も言われなくても、領きながら食べていたり、スープまで飲み干しているお客さんを見ると、胸がいっぱいになります。味見をしているのもあるけど、お客さんが食べている姿に満足して、お昼ご飯を食べないくらいです」

積み重ねた信頼

「子どもたちとの時間を大切にしたいくて、行事はなるべく参加しています。その分お店を休んで申し訳ない気持ちでしたら、お客さんが『子どもの方にかやこて。私たちはいつでもこれるけん』って言ってくれたんです。お客さんと今まで積み重ねてきた信頼関係を感じて嬉しかったです。今は『子どもが大きくなったら、休んだ分ぎゃん恩返しするけん』という気持ちです。もう少し待っていてくださいなね」

そう語る島田さんの笑顔は輝いていた。



しまだ ちほ

【好きな言葉】

笑う門には福来る、一期一会

【みやま市にひとこと】

子どもたちが「故郷」と呼べる場所がみやま市でよかったと思います。人情あふれた、人懐っこいみやま市が大好きです。

みやま文芸

高田町句会

引き潮の水辺に並ぶ川千鳥

板橋 寿

酔ひきれぬままに暮れたる芙蓉かな

岩屋 清美

大輪の月下美人の花一夜

紙田 幻草

能舞の地元役者や秋のどか

猿渡 洋子

雑草の中凜と立つ彼岸花

野田 憲二

漱石忌名もなき金魚つひに逝く

野田岳比古

色白の睫毛の長き案山子かな

西山ワカ子

干柿の甘くなあれとおまじなひ

松尾 光恵



※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。